



九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.163

2011(平成23)年 2月20日(日)発行

＜あなたの戦争体験を文字にし本に掲載しましょう・「孫たちへの証言」に原稿を募集中＞

○新風書房(本社・大阪市)では市民の戦争体験記『孫たちへの証言』を毎年夏に出版しています。現在第24集の原稿を募集していますが、あなたも応募してみませんか。「実体験した方の言葉は強く、重い。今だから言えるということやぜひ記録にとどめてほしい」と担当代表者が話しています。○本会でもこれまで「私の戦争体験」として35名の貴重な体験をこの会報で公表してきましたが、よろしければそのままこの企画に応募してみませんか。事務局までご連絡ください。



今年も新成人に「憲法」をプレゼント

○ちよとど四十年前の一九七一年の山田貢市長時代、旧原町市が公費で作製し、全戸に配布した小冊子「憲法」。成人式での配布は今年で四年目になります。

憲法の小冊子配布
はらまち九条の会

はらまち九条の会は九日、南相馬市民文化会館前で成人式に出席する新成人に憲法の小冊子を配布した。

新成人に「憲法」を考えるきっかけにしてほしいと毎年配っており今年で四年目。

昭和四十六年に旧原町市が発行して全戸に配布した冊子の復刻版

小冊子を受け取る新成人

小高九条の会も同日、浮舟文化会館前で小冊子を配った。

新成人に「憲法」配布
はらまち九条の会

南相馬市原町区で9日行

新成人に「憲法」の冊子を配る会員

このように新聞に取材され掲載していただけることは、実は大変有り難いことです！広報により初めて「九条の会」の活動が市民に伝わるのですから。

わたれた成人式で、はらまち九条の会(平田慶隆会長)は、新成人に「憲法」復刻版の冊子400冊を配った。今年で4年目の事業。同会は「憲法を生活の中に生かしてほしい」と話した。

来春、常磐線の特急が廃止に 相双地区の乗降者は全員 「いわき駅」で乗り換えに！

■JR東日本は、平成24年4月のダイヤ改正で常磐線の特急「スーパーひたち」上野～仙台は、すべていわき駅止まりにする方針を発表しました。乗客数の減少が大きな理由です。■これが実行されれば、相双地区の経済、行政、教育、文化に多大の悪影響が及ぶことは明白で、一層相双地区は取り残された地域になってしまいます。■全列車がいわき駅止まりで、相双の乗客は高齢者も赤ちゃんも、季節や天候も関係なく、全員が大きな荷物を抱えて乗り換えになります。■昔は石炭を、現在は日本一の原因地区として首都圏に電力を供給し、利用されるだけで軽蔑されたままです。■JR東日本ははたして真剣に利用者を増やす努力をしてきたのか。駅近辺に専用の廉価な駐車場はないし、特急とは名ばかりでスピードは数十年アップしていません。料金も高額で、「高速バス」に乗客を奪われるのは当然です。「経営」が何より優先で「住民サービス」は後回しです。憲法9条とともに心配なことです。■社長さんに直接手紙で訴えましょう。151-0053東京都渋谷区代々木二丁目2番2号、JR東日本、代表取締役社長清野 智様宛て。仙台ご出身で常磐線はよくご承知のはずです。

参加報告 「一昨年、民主党政権に交代したが、期待は失望にかわりつつある。昨年8月、政府の有識者懇談会の報告書で、「非核三原則」の「持ち込まない」の削除や、「武器輸出三原則」の見直しなども求め、自民政権時代でも行われなかったことで安全保障政策の抜本的転換を迫るものといえる。また2010年版「防衛白書」では「米海兵隊は沖縄にいなければならない」と主張している。そのような情勢下で私たちは今総会で憲法9条を守り広めていくことの大切さをあらためて確認した。武力に武力をもって戦えば、多くの労働者・女性・子供が犠牲になる。戦争を起こすのも止めるのも私たち民衆の力にかかっている。」 (2011年2月5日、「相双地区9条連」2011年総会アピール＜一部＞より)

憲法9条を守る運動



99歳の母
 よろこぶまっぴん

いつも「99歳を母」と訴えている今年百歳の日野原重明さん
 二月五日付『朝日新聞』beより

憲法9条をなくそうという改憲政策が、安倍内閣以来、国会の中うごめいています。国民投票になった場合、日本の若者は、こぞって改憲阻止運動をすべきだと、私は2008年の5月にこの欄に書きました。その時までに日本人の選挙権を20歳から18歳に下げ、若者の力で改憲を阻止しようというのが私の主張でした。

あのエッセーから、2年半が経ちました。米軍基地を県外へ移転せよとの沖縄住民の声が日に日に高まる中で、鳩山前内閣を継いだ菅内閣が米軍と約束した案には、失望させられました。どんなに大きな規模の国家予算を基地住民のために捻出することになったとしても、基地を移転させて、沖縄の人たちの生活環境を好転させなければいけないのが今日の情勢だと考えます。

全国民が沖縄の住民と共に、基地をできるだけ早く国外に移す具体案を政府に確約させない限り、解決の道は考えられません。憲法9条を守る運動こそが、沖縄の問題を解決する唯一の方法であると、私は思っています。

この間私は、10歳の小学生への「いのち

日野原重明

ひのはらしげあき。
 1911年山口県生まれ。



の授業」で平和の心を教えてきました。今までに150校以上を回り、最近では10歳より上の子どもたちも含まれるようになり、さらに、中学校や高校からの要請もありました。日程が空いていれば、いつでも予約を受け付けようと思っています。

さらに、09年3月からは、「九条の会」の応援団となって、全国各地で講演をしてきました。昨年11月には東京都大田区の産業プラザで開かれた「東京9条まつり」と題した集会に出かけました。「生きいき憲法」の題で講演し、出席者から活発な意見や質問が出て、非常に熱気のある会合でした。

このほか銀座プロッサム(東京)や日本教育会館の大会議室(同)、横須賀芸術劇場(神奈川県横須賀市)などでの「九条の会」は、会場の大小はあっても、過去に訪れたところはいずれも満員の盛況でした。どの会でも、参加者の3分の2を女性が占めていました。80歳を超えた女性も熱心に出席する中、20、50代の若い層が多いことに、私は心強くなりました。

(聖路加国際病院理事長)

参加報告(事務局より)

〇2月 5日(土) 相双地区9条連2011年総会(南相馬市中央図書館)に出席し、本会活動について報告。
 〇2月19日(土)「福島県九条の会」全県連絡会(郡山市総合福祉センター)に出席してきました。

「9条運動も予断を許さない状況です」

代表吉原泰助さんは「日米安保は軍事と経済の二面の同盟関係の強化を狙い、TPPもアメリカの戦略の一端です。領土紛争で軍事強化論が蔓延し、石原、河村、橋本のような強いリーダーを待望しつつある。政局が混乱し、ねじれ国会の下で大連立や再編の二大接着剤となるのが、「改憲」と「消費税」です。総じて改憲に結びつく状況にあり、状況は予断を許さない、まさに九条運動は正念場です」と挨拶されました。

事務局長真木實彦さんも「今年、来年、政局がどう変化するか深刻な状況ですが、ここに来て「九条の会」運動がちょっと停滞気味です。アメリカのアーミテージやゲーツが日本の憲法を変えろ、集団的自衛権を認めるように圧力をかけていますが、ここで「九条の会」を再活性化しましょう」とアピールしています。

アフガンに命の水を求めて

中村 哲 医師 講演会

- ・5月22日(日)12:30
- ・いわき市アリオス
- ・入場:大人1,000円
- ・主催:福島県九条の会



2008年9月にいわき市での開催直前、伊藤和也さんの拉致殺害事件で中止になった講演会ですが、いわき市の九条の会では今度こそと力を入れています。チケットは事務局にあります。

これからの行事

- 〇4月24日(日) 会場:原ノ町駅前・南相馬市中央図書館・マルチメディアホール
- 2:00~3:00 「はらまち九条の会」2011年総会
 - 3:00~4:00 「中村 哲氏のアフガンでの活動・DVDを見る会」
 - 5:00~ 懇親会(恒例の自由に気軽におしゃべりを楽しむ会・会場未定)

